

AvePoint

Cloud Management

リリースノート



2018 年 7 月リリース版

新機能と強化点

- 新しいデータ センター **フランス中部 (パリ)** と **カナダ中部 (トロント)** が使用可能になりました。
- **新規を含む** を使用して **コンテンツ マネージャー / 展開マネージャー** ジョブの範囲に選択されたノードおよび新規追加されるノードを含むことが可能になりました。
- **パワー ユーザー** に対して、**アカウント マネージャー** 画面の **ユーザー ベース ビュー** にダッシュボードが追加されました。このダッシュボードには **権限の表示** および **権限の変更** アクションが表示されます。**標準ユーザー** および **サポート** に対して、このビューには管理サイト コレクションおよび現在のユーザーに共有されたプラン / プロファイルが表示されます。
- **監査マネージャー レポート** に **ブラウザー** 列が追加されました。この列には、アイテム・ドキュメントの表示に使用されたブラウザーが表示されます。
- **コンテンツ マネージャー・展開マネージャー・レプリケーター** が、SharePoint Online サイトおよび Office 365 グループ チーム サイト内のモダン サイト ページに追加された **テキスト**、**分割バー**、**イベント**、**ファイル ビューアー**、**強調表示されたコンテンツ**、**画像**、**画像ギャラリー**、**リンク**、**リスト**、**ニュース**、**ユーザー**、**サイト** Web パーツに対応しました。
- コンテンツを展開先に展開する際に、共有リンクを権限の一部として含めるかどうかを選択することが可能になりました。
- Office 365 で無効化された **すべてのユーザー**、**外部ユーザー以外のすべてのユーザー**、**すべてのユーザー (membership)**、**すべてのユーザー (windows)** グループに権限を付与することが可能になりました。
- **セキュリティ検索** で Active Directory ユーザーの権限を検索することが可能になりました。
- **Office 365 アクティビティ レポート** が Teams 関連のレポートに対応しました。
- **コンテナの作成** 機能を使用してサイト コレクションを作成する場合、SharePoint Online 環境への接続にカスタム Azure アプリケーションを含むアプリ プロファイルを使用することが可能になりました。

本バージョンの既知問題については、[既知の問題](#) を参照してください。

既知の問題

既知の問題	検出バージョン	修正バージョン
新しいテーマ カラーを適用することで Office 365 グループ チーム サイトの外観を変更しており、かつコンテナ レベルの競合解決として マージする が選択されている状態で、Office 365 グループ チーム サイトを展開先 Office 365 グループ チーム サイトに展開すると、テーマの色が展開先に展開できません。	2018 年 3 月	
アプリ プロファイル認証方法を使用して OneDrive for Business をスキャンする場合、レポート ポイント内の データの取得 機能を OneDrive for Business に対して使用することはできません。この問題はアプリ プロファイルが監査ログを取得できないことに起因します。	3.17.2	
以下のアクションを実行する場合、移動元フォルダーと移動先フォルダーが競合していない状態で、フォルダー レベル間の コンテンツ マネージャー ジョブを実行します。 コンテナ レベルの競合解決 として スキップする が選択されている状態で、 下位オブジェクトを確認する チェックボックスを選択解除します。ジョブの完了後、フォルダー競合のため、ドキュメントが移動先にコピーされません。	3.16	
サイト コレクション レベルで発行機能をアクティブにしていない移動先に Web パーツの 目次 をコピー / 移動することができません。 対処法: 移動先サイト コレクションで発行機能をアクティブにします。	3.16	
アイデンティティ マネージャーが Office 365 からライセンス情報を取得できる製品バージョンは、Office 365 Enterprise E3、Office 365 Enterprise E5、Azure Active Directory Premium Mobility Suite、Azure Active Directory Enterprise Mobility Suite です。	3.12.2	
移動元ノード レベルが移動先ノード レベルと同じである場合、 コンテンツ マネージャー ではコンテナ レベルの競合として扱われます。これは既定の論理です。 バージョン設定 画面で、 コンテンツの承認 、	3.11.2	

既知の問題	検出バージョン	修正バージョン
<p>ドキュメントのバージョン履歴、下書きアイテムのセキュリティ セクションのうち、いずれか 1 件のセクションで [すべてを既定値に設定する] をクリックすると、この 3 箇所のセクションの設定がすべて既定値に設定されます。これは API の制限に起因します。</p>		
<p>多数のアイテム (5,000 アイテム以上) をコピーする場合、コピー先にアクセスできなくなることがあります。この場合、「429 TOO MANY REQUESTS」とメッセージが表示されます。この問題を防ぐため、営業時間内に大規模なジョブを実行しないことを推奨します。</p> <p>原因: これは SharePoint の調整制限によるものです。詳細については https://msdn.microsoft.com/JA-JP/library/office/dn889829(v=office.15).aspx を参照してください。ジョブの完了後、対象サイトへのアクセスが可能になります。</p>	3.10	
<p>SFTP ストレージ タイプの物理デバイスを構成し、SFTP サーバーが freeSSHd である場合、パスワードおよびプライベート キー ファイル (.ppk file) の両方を同時にテストすると、テスト結果は失敗となります。</p> <p>原因: SFTP では、.openssh 形式のプライベート キー ファイルのみに対応しており、PuttyGen によって生成された .ppk 形式のプライベート キー ファイルには対応していません。</p> <p>対処法: プライベート キー ファイルの形式が .ppk である場合、PuttyGen を使用して .openssh ファイルに変換します。</p>	3.4.2	
<p>[workflow;open a] というテキストが含まれる名前でプランおよびプロファイルを作成すると、保存時にエラー メッセージが表示されます。これは、[workflow;open a] が Windows ファイアウォールのルールの起動に使用されるコマンドであるため発生します。</p>	3.4.1	
<p>使用中にネットワーク分断が発生した場合、ジョブを開始しました または他の操作インジケターが通知ペインで正常に表示されない可</p>		

既知の問題	検出バージョン	修正バージョン
<p>可能性があります。通知の表示に失敗しても、ジョブは正常に開始されており、ジョブ モニターで追跡されている可能性があります。操作の再開始または新しいレポートのエクスポートを実行する前にジョブ モニターを確認することが推奨されます。</p>		
<p>SharePoint Online サイト コレクションの URL に特殊記号 [~] が含まれている場合、このサイト コレクションのストレージ クォータは レポート ポイント > 管理レポート > 構成レポート 内のレポートに記載されません。この問題は SharePoint Online の API 制限により発生します。</p>	3.4	
<p>AvePoint Cloud Management では、サイト コレクション管理者またはそれ以上の権限を持つユーザーのみが SharePoint Online サイト コレクションの登録を行うことができます。</p>	3.4	
<p>SharePoint Online では、5000 以上のアイテムを含むリストの継承を解除すると、ジョブが失敗となります。この問題は SharePoint Online の制限に起因します。</p>	3.4	
<p>フィルター ポリシーを正しく構成しジョブを正常に実行させるには、フィルター ポリシーの構成時、値 列にはパーセンテージではなく小数点の表示形式で入力する必要があります。</p>	3.3.1	
<p>移動元サイトを移動先サイト コレクションへマージする場合、移動元サイト管理者は移動先サイト コレクション管理者へ昇格しません。このため、移動元サイト管理者には移動先サイト コレクションへのアクセス権限はありません。移動元サイトは移動元サイト コレクションで設定された権限をそのまま継承します。</p> <p>対処法: 移動元サイト コレクションを移動元ノードとして選択し、移動元のすべての権限を移動先サイト コレクションへコピー・移動します。</p>	3.3.1	

既知の問題	検出バージョン	修正バージョン
<p>クライアント API 制限により、制限付きアクセス権限のリストには対応していません。例えば、移動元サイト内でアイテムの権限継承を解除し、セキュリティ グループを追加、権限の編集を行います (SharePoint Online では制限付きアクセス権限の選択は必須)。コンテンツ マネージャーを使用し、コンテナ レベルの競合解決では マージする を選択、コンテンツ レベルの競合解決では 上書きする を選択して移動元サイトを移動先サイトへマージした場合、制限付きアクセス権限は移動先へコピーされません。</p>	3.3	
<p>監査設定のレプリケートには対応していません。レプリケート元サイトコレクション内の監査設定がレプリケート先にレプリケートされません。クライアント API の制限により、Audit、TrimAuditLog、Site.AuditLogTrimmingRetention の Microsoft.SharePoint.Client.Site 属性はレプリケート中に取得できません。</p>	3.3	
<p>個人用ビューは他のユーザーがアクセスできないプライベート リソースのため、コピー・移動することができません。例えば、移動元ノードとしてリストを選択し、移動先ノードとなるリストを手動で入力します。ウィザードモード で コンテナ レベルの競合解決 では マージする を選択、コンテンツ レベルの競合解決 では 上書きする を選択してから、リスト ビューを含める を選択して、コピー・移動ジョブを実行すると、サイト コレクションを登録していないユーザーの 個人用ビュー は移動先にコピー・移動されません。</p>	3.2.1	

通知: 本書に含まれる内容は AvePoint Japan が所有かつ提供し、AvePoint Japan およびライセンス所有者に帰属します。本書の内容は著作権および商標登録およびその他所有に関わる法律によって保護されます。本書に掲載する通知および著作権の情報のいかなる削除ならびに変更も禁じます。

著作権: Copyright© 2018 AvePoint Japan K.K. All rights reserved. 本書の著作権は AvePoint Japan 株式会社に帰属します。本書に掲載されている情報はすべて日本著作権法において保護されており、内容の無断複製、更新、転載を禁じます。本書のいかなる部分、いかなる書式および電子通信、機械的送信、複製、記録などのいかなる方法、あるいは AvePoint Japan 株式会社 (〒 108-0074 東京都港区高輪 4 丁目 10 - 18 京急第一ビル 11 階)、ならびに本書に掲載する情報がサードパーティに所有される場合サードパーティによる事前の文書による許諾なしに複製、保存、送信を禁じます。また上記の如何に関わらず、本発行物内の AvePoint 関連の情報 (派生物及び変化物を含む) の何人による複製及び転載も禁じます。また、如何なる複製物並びに転載物も自動的に AvePoint に属するものとし、該当者または継承者、担当者、相続者、恩恵者、実行者のいずれも該当複製物並びに転載物を直ちに AvePoint へ返却し、必要書類に署名することに同意するものとします。

商標登録: AvePoint[®]、DocAve[®]、AvePoint ロゴおよび AvePoint ピラミッド ロゴは AvePoint Japan 株式会社による日本特許庁登録済みの商標です。これらの登録商標および本書に使用されている他の商標はすべて AvePoint の専有プロパティであり、文書による許諾なしには使用できません。

Microsoft、MS-DOS、Internet Explorer、Office、Office 365、SharePoint、Windows PowerShell、SQL Server、Outlook、Windows Server、Active Directory、Dynamics CRM 2013 はマイクロソフト株式会社の商標または登録商標です。

Adobe Acrobat、および Acrobat Reader は Adobe Systems, Inc の商標です。

その他本書に掲載されている商標はすべて該当の所有者のプロパティであり、許諾なしに使用することを禁じます。

変更: 本書の情報は情報提供のみを目的とし、通知なしに変更または更新される場合があります。当社では最新、そして正確な情報を提供するよう努力しておりますが、あらゆるコンテンツの誤りもしくは脱落に起因する間接的、派生的に生じた損害に対し、一切の責任を負わないものとします。当社は、ユーザーに対し予告、通知をすることなく AvePoint ソフトウェアのグラフィック ユーザー インターフェイスを変更する権利を所有しています。

V: 20180802_JP_01

AvePoint Japan 株式会社

〒 108-0074

東京都港区高輪 4 丁目 10-18

京急第一ビル 11 階